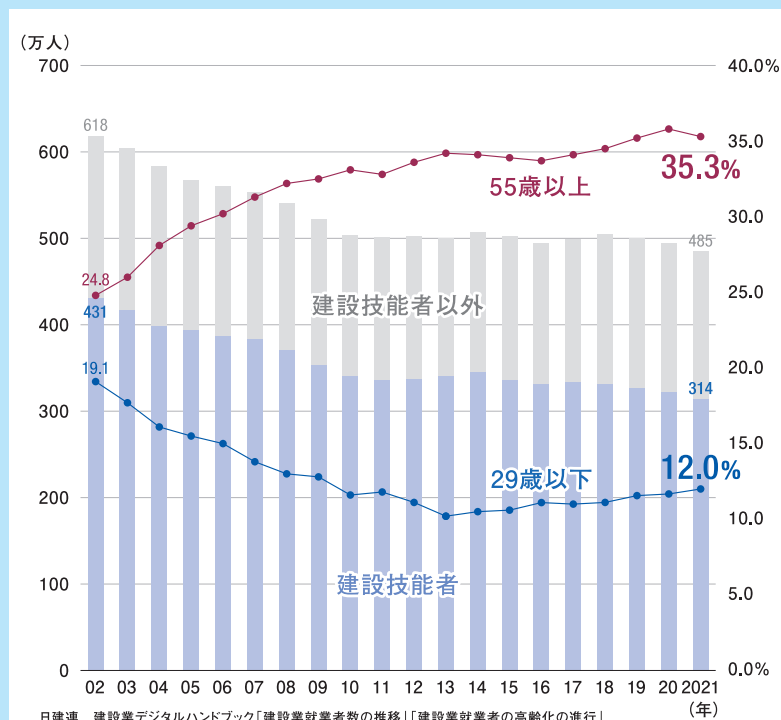


建設業の担い手働き方の現状

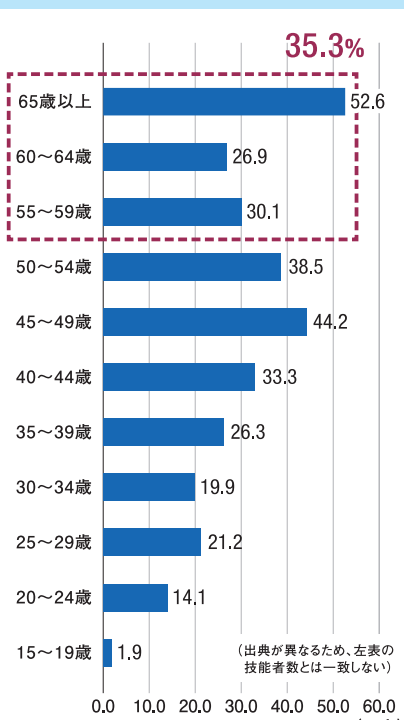
国の統計からみる建設業の現状

国民生活や社会経済を支える建設業は今、担い手不足や長時間労働など多くの課題を抱えています。就業者数や労働時間の推移、休日の状況などの統計から、建設業を取り巻く現状を紹介します。

■建設業就業者数の人数と若年層／高齢層の割合の推移



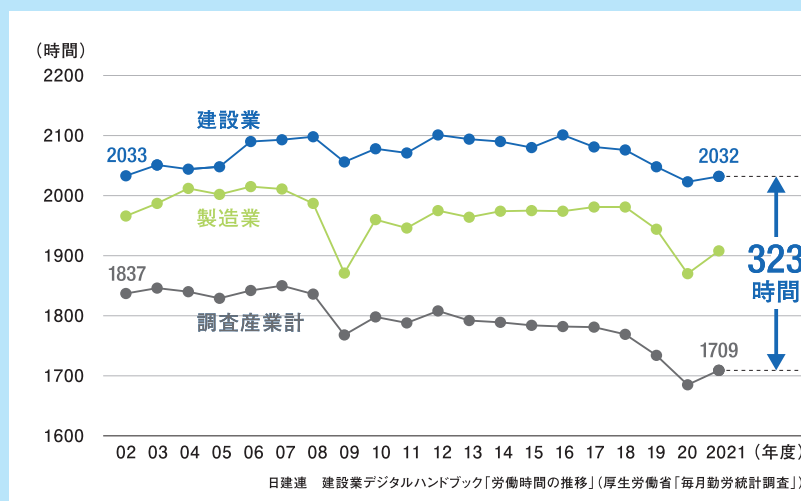
■年齢階層別建設技能者数



29歳以下 **12.0%** 55歳以上 **35.3%**

建設業就業者数は年々減り続け、高齢層の割合が急激に増加しています。新規入職者に選ばれる産業に変わらなければ、近い将来、担い手不足により建物やインフラなどの新設や維持ができなくなるおそれがあります。

■年間実労働時間の推移



全産業 **1709** 時間 建設業 **2032** 時間

年間実労働時間は、全産業平均1709時間に対して建設業は2032時間と、323時間増(1か月あたり27時間増)の長時間労働になっています。

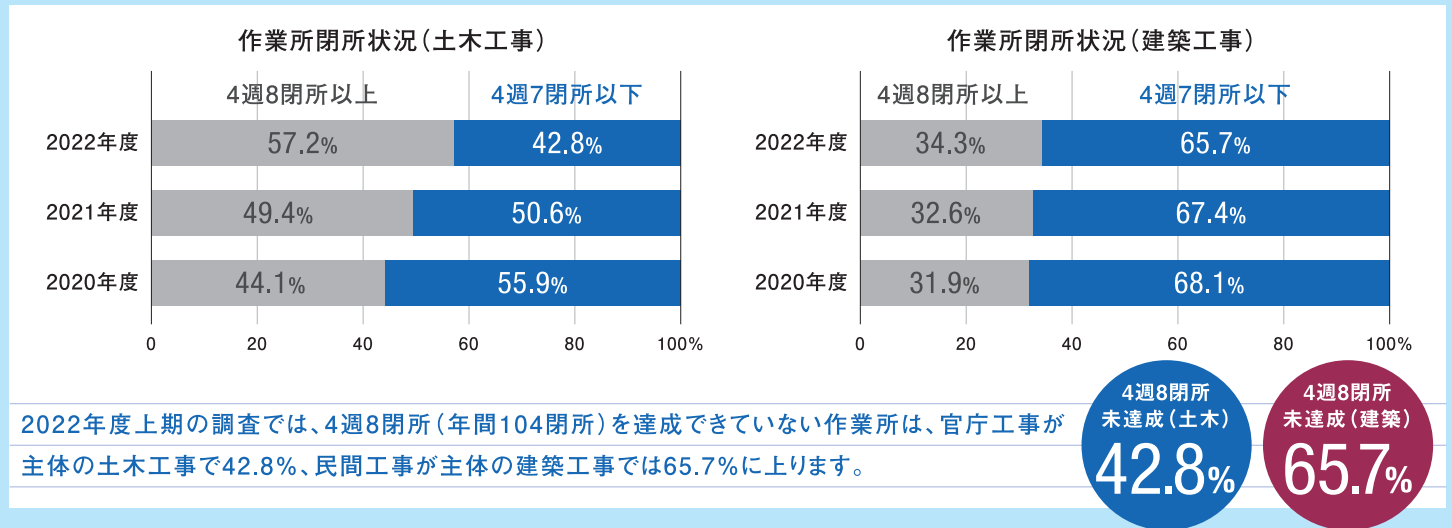
持続可能な建設業界でありつづけるために

建設業では、長時間労働の是正や週休二日を確保するための取り組みを進めています。「給与が良い」「休暇がとれる」「希望がもてる」の「新3K」に「カッコいい」を加えた「新4K」の魅力溢れる建設業の実現を目指していきます。

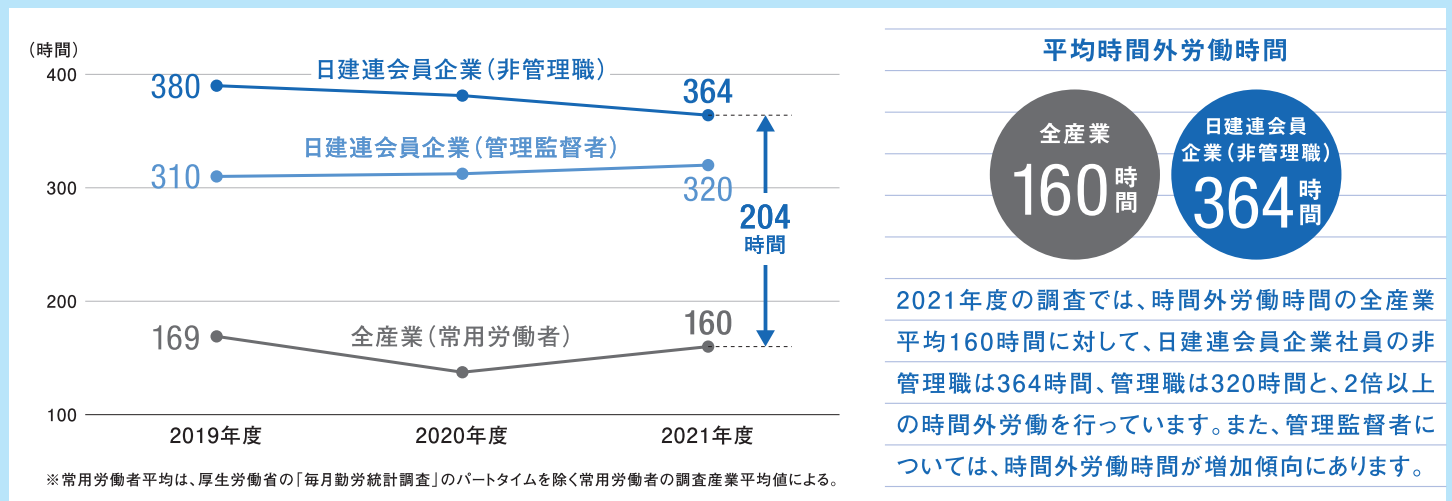
日建連調査による会員企業の現状

日建連では会員企業と共に環境改善を進めていますが、まだ多くの問題を抱えています。
日建連の各種調査から、会員企業の社員が働く環境の現状を紹介します。

■作業所の4週8閉所実施状況



■時間外労働時間



■時間外労働上限規制の2021年時点での達成状況

